

## 『産業学会研究年報』投稿規定・執筆要項（2013年度）

I. 投稿資格があるのは、2013年6月9日の全国研究会の終了時点で会員であること（学生会員を含む）、投稿時点までに会費を納めていること、です。

### II. 2013年度のスケジュール

(1)2013年8月31日までに編集委員会委員長(宮田)にメール（下記アドレス）でお送りください。プリントアウトしたものを送る必要はありません。提出に関しては以下、同様です。

(2)掲載可、掲載不可、条件付掲載可のお返事を11月上旬までに致します。

条件付掲載可の場合、必要な修正を行った論文を12月15日までに編集委員長まで再提出してください。この期限を守れない場合は、辞退とみなします。

辞退とみなされた論文は、審査のプロセスを打ち切ります。修正なされた論文で2014年度に投稿していただいてもかまいませんが、他の論文と同じように最初から審査を受けていただきます。

(3)2014年1月中旬に、掲載可、掲載不可のお返事をさしあげます。この時点で、条件付掲載という結論はございません。掲載不可となった論文を修正して2014年度に投稿していただいてもかまいませんが、他の論文と同じように最初から審査を受けていただきます。

(4)掲載可となった場合、最終原稿とともに、英文タイトルと英文要旨(300Words)を添えて2月15日までに編集委員長まで提出してください。印刷所に入稿します。

英文については、英語を母国語とするネイティブのチェックを投稿者自身が依頼して行うことを原則とします。

正式に掲載可となるまで、英文要旨を準備する必要はありませんが、ネイティブチェックを1か月でしていただかなくてはなりませんから、候補になる方をあたっておかれることをお勧めします。

なお、2月15日の提出期限までに提出されなかった方も、(2)と同様、辞退とみなします。

### III. 執筆要項

1. 査読は、レフリーは執筆者を知らない、執筆者はレフリーを知らない、という二重盲検制度で行います。したがって、氏名、所属、大学院生の場合は指導教員名、連絡先（住所、メールアドレス、電話番号）、謝辞は1頁目に書いてください。この頁はレフリーにはわたしません。大学院生の場合、所属先としては、「XX 大学大学院博士

後期課程」など「課程」まで書いてください。ただし、掲載されるときに所属の記載は「XX 大学大学院」となります。

本文中には執筆者を推測できることは書かないでください。謝辞には指導教員名がしばしば入るので、レフリーに指導教員名が知られないようにするため、上述のように謝辞は 1 頁目に記載してください。自己引用（自分の過去の論文の引用）も必要最低限にしてください。

2. 枚数：16,000 字以内です。

ワープロ打ちで A4 に横書き、1 ページに 40 字×36 行、フォント 10.5 ポイント、できれば「MS 明朝」、「英字 Century」、英字・数字は半角（ひとけたなら全角）でお願いします。

上記の枚数は図表、注、参考文献込みです。図表は 1 つにつき 400 字に換算してください。図表には上または下に、通し番号とタイトルをつけ、出所も明示してください。印刷は白黒ですので、図表の配色にはご注意ください。黄線は明瞭に出ませんし、濃すぎる図表も見にくくなります。一度、白黒で出力してご確認ください。

3. 文献引用の表記は下記の通りとします。

本文ならびに注(脚注ではなく末注)の中では「田中(2005, p.45)によれば」、「XXX である(田中 2006, pp. 30-32)」とし、参考文献に文献名を書きます。

文献名・雑誌名は二重カギカッコ、論文名は一重カギカッコとします。以下に例示。

田中太郎 (2005)『産業経済』東洋経済新報社。

田中太郎 (2008)「日本の自動車産業」、佐藤一郎編『日本の産業構造』日本評論社。

外国語文献では執筆者名はファミリーネームのみ書き、ファーストネームとミドルネームはイニシャルとします。論文名は“ ”、雑誌名・書名はイタリック、出版場所と出版社を記載します。

Carlton, D. W. and Peroff, J. M. (1994) *Industrial Structure and Economic Performance*, Boston: Houghton Press.

Mowery, D. C. (1999) “ The Computer Software Industry,” In Mowery, D. C. and Nelson, R. R. (eds.) *Sources of Industrial Leadership*, Cambridge: Cambridge University Press.

Mansfield, E. (1988) Industrial R&D in Japan and the United States: A Comparative Study, *American Economic Review*, Vol.78, No.2: 223-228.

4. 論文は、研究の目的、先行研究サーベイ（それらと比べて本研究がユニークな点）、研究の方法、データの出所の提示、データの分析、考察、結論というアカデミックな論

文の構成を基本としてください。

執筆要項の上記1から4に従っていない論文は、編集委員会の権限で、審査の際に減点の対象とさせていただきます。

5. 印刷原稿の校正は執筆者にお願いいたします。原則として2校までです。校正原稿は印刷所から直接、郵送されます。
6. 投稿者の転居などで連絡先が変更になった場合は編集委員長までご連絡ください。
7. 抜き刷りは50部まで無料で差し上げます。それ以上の部数が必要な場合は自己負担になりますが、校正時に印刷所にご連絡ください。
8. 研究年報掲載後の論文の著作権は産業学会に帰属することを御了承ください。(独)科学技術振興機構のデジタル・アーカイブ保存事業に参加するために必要な措置です。

以上です。

ご質問がございましたら、ご遠慮なく編集委員長までお尋ねください。  
よろしくお願ひ申し上げます。

産業学会理事 『研究年報』編集委員会委員長  
宮田由紀夫  
662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155  
関西学院大学国際学部  
0798-54-4712  
yukio@kwansei.ac.jp